

8

下水道を守る

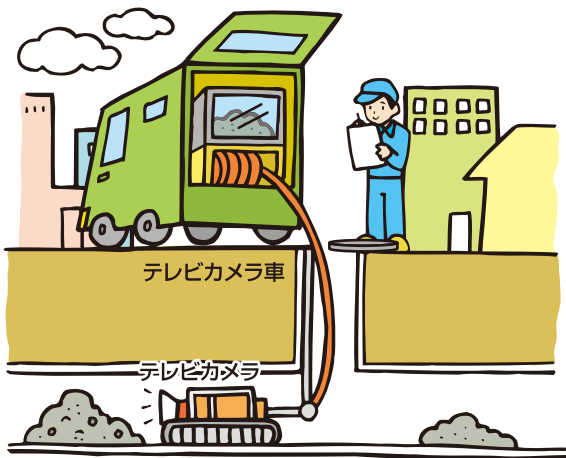
大切な下水道を守るために、北九州市の人々は、どのような工夫や努力をしているのでしょうか。



○市役所の人々の工夫や努力

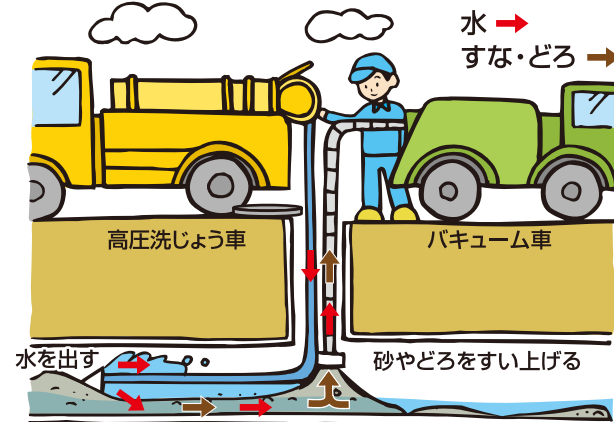
下水管の底に、砂やどろがたまると、よごれた水の流れが悪くなって、道路にあふれることがあります。また、下水管は、長く使いつづけることや、車によるしん動、電気・ガス・水道の工事などによって、こわれることもあります。そこで、市役所では、下水道の検査をして、そうじやしゅうぜんをしています。また、古くなった下水管の取り替えなども行っています。

テレビカメラによる検査



下水管のこわれた所や、ごみのつまっている所は、テレビカメラで調べます。大きな下水管の検査は人が入ってすることもあります。

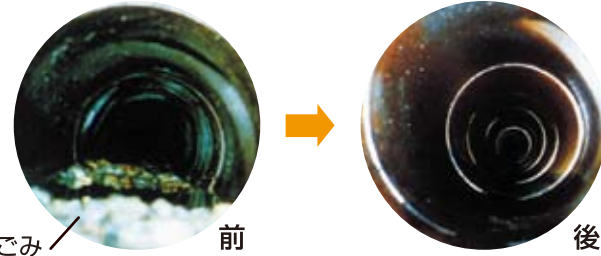
高圧洗じょう車によるそうじ



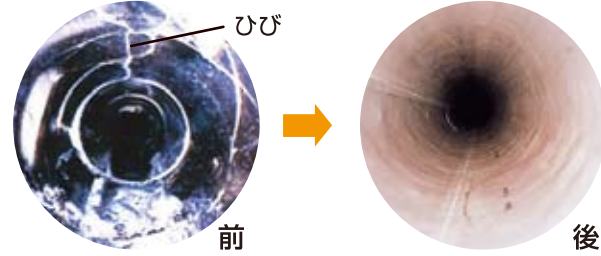
高圧洗じょう車は、おもに人が入れない下水管のそうじをします。高圧洗じょう用ホースから水をいきおいよく出し、たまった砂やどろを流し、バキューム車のホースですい上げます。

テレビカメラでとった写真

下水管のそうじ



下水管のしゅうぜん



★指導上の留意点★

北九州市では、下水管の検査を、大口径管（人が入れるほどの大きな管）は目視、小口径管（人が入れない小さな管）はテレビカメラによって行っています。特にテレビカメラによる検査は、異常箇所の状況をDVD画像に記録でき、経年変化を具体的に確かむことができるので、積極的に実施しています。

○工場の人々の工夫や努力



工場で使った水は、そのまま下水管へ流しているのですか。

工場で使った水には、浄化センターで取りのぞけないようなもの（水銀やシアンなど）がふくまれていることがあります。また、油などを下水管に流すと、よごれてつまることがあります。ガソリンなどは、ばくはつすることもありとてもきけんです。

そこで、このようなものをふくんだ水が下水管に流れこまないように、使った水は工場内できれいにし、下水管に流しています。

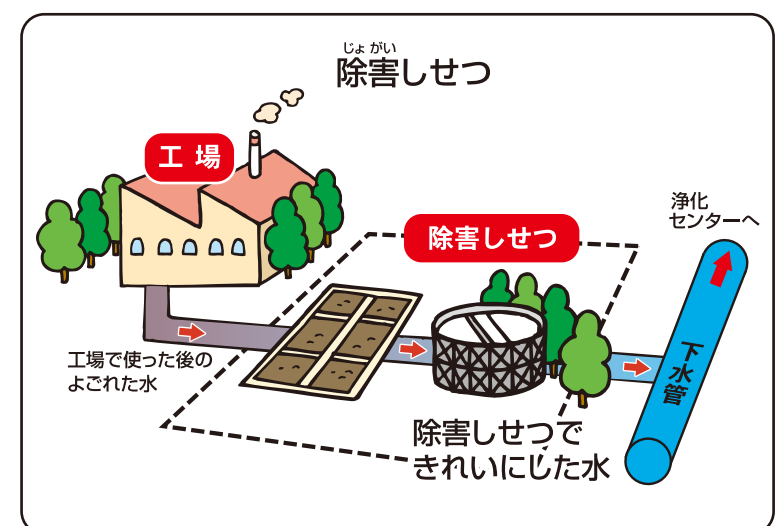


○工場で使った水をきれいにするしせつ

工場で使った水をきれいにするせつびを「除害しせつ」と呼び、下水道を使う工場では除害しせつをつくるよう、法律できめられています。（下水道法）



（工場の除害しせつ）



★指導上の留意点★

工場の排水には、水銀やシアンなどの有害な物質が含まれていることがあり、浄化センターで取り除くことができません。また、汚れた水をきれいにする働きをもつ微生物に悪い影響を与えます。それで、北九州市では工場に対し立入検査や抜き打ちの水質検査を行っています。